

## 東京証券取引所主催の「企業価値向上表彰」で「大賞」を受賞

---

塩野義製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」）は、東京証券取引所（以下「東証」）が主催する第6回「企業価値向上表彰」において、上場企業約3,500社の中から「大賞」に選定されました。「企業価値向上表彰」は、東証が市場開設者としての立場から望ましいと考える企業価値の向上を目指した経営の普及・促進を図ることを目的として、企業価値の向上を実現している上場会社を表彰する取り組みです。

当社が選定された理由は以下の通りです。

「塩野義製薬株式会社は、資本コストを上回る企業価値の創造を目指す『企業価値向上経営』を高いレベルで実践していると認められました。投資者との対話に積極的に取り組み、そこで得られた知見を自社の経営管理に活用することで持続的な企業価値の向上を実現するなど、『企業価値向上経営』を特に高いレベルで実践していると認められました。」

当社が特に優れていると評価されたポイントにつきましては、2ページ目に詳細を記載しております。なお、選定方法とプロセスにつきましては、東証のプレスリリース「[第6回企業価値向上表彰の表彰会社の決定について](#)」をご覧ください。

当社は「創薬型製薬企業として社会とともに成長し続ける」ことをビジョンに掲げ、世界中の患者さまにより有効で安全な薬をお届けし、社会から必要とされる企業であり続けることを目指しています。株主・投資家の皆さまとの対話をはじめ、全てのステークホルダーの皆さまと常に「最適なバランス」を以て接しながら、企業価値の創造に継続して取り組んでまいります。

(参考)

当社が特に優れていると評価されたポイント

### 1. 投資者との対話に積極的に取り組み、自社の企業価値向上につなげている

- 投資者との対話で得られる知見を経営にフィードバックする仕組みを整備したうえで、積極的に対話に組み込み、経営管理の改善を実行。
- 経営トップが、投資者との対話の重要性を強く認識し、自身の時間の25%程度を投資者との対話に充てることを明言し、実際に経営トップ自身が対話を実践。

### 2. 投資者視点を意識した経営目標を設定して公表し、その成果が現れている

- 資本生産性を表す管理指標（ROE、ROIC）に自社の資本コストを大きく上回る水準の目標値を設定し、中期経営計画（2015年3月期～2021年3月期）において公表（ROE目標：15%以上、ROIC目標：13.5%以上）。
- 過去3年間（2015年3月～2017年3月期）のROEは、9.4%、13.6%、16.3%と大きく向上し、経営目標として掲げた水準を前倒しで達成。

### 3. 企業価値向上の実現に向けた経営管理の仕組みを構築している

#### 【新規事業の管理】

- 自社の資本コストの水準を適時に見直し、それを考慮した管理指標（「NPV」「Risk adjusted NPV」）を用いて、資本コストや資本生産性を強く意識した投資判断を実践。

#### 【既存事業の管理】

- 自社の特性を踏まえた管理指標（「ロイヤリティー収入除く営業利益」等）を継続的に確認して経営目標の実現への貢献状況の評価し、その結果次第で事業撤退も決断するなど、的確かつ堅実な事業ポートフォリオ管理を実践。

### 4. 企業価値向上の意識や経営管理の仕組みが組織に浸透している

- ROIC や CCC を重要な管理指標に採用して目標値を設定し、それらを構成要素ごとに細分化することで、会社全体として経営効率の改善に努める仕組みを導入。
- 経営トップ自らが、四半期ごとにすべての社員に対して直接経営のメッセージを発信するほか、次世代経営層の育成に向けた研修に強く関与するなど、強いリーダーシップを発揮して企業価値向上に向けた意識や経営管理の仕組みの社内への浸透に尽力。

以上

[お問合せ先]

塩野義製薬株式会社 広報部

TEL : 06-6209-7885

FAX : 06-6229-9596